



気候変動リスク分析情報サイトについて

環境省 地球環境局 総務課 気候変動適応室

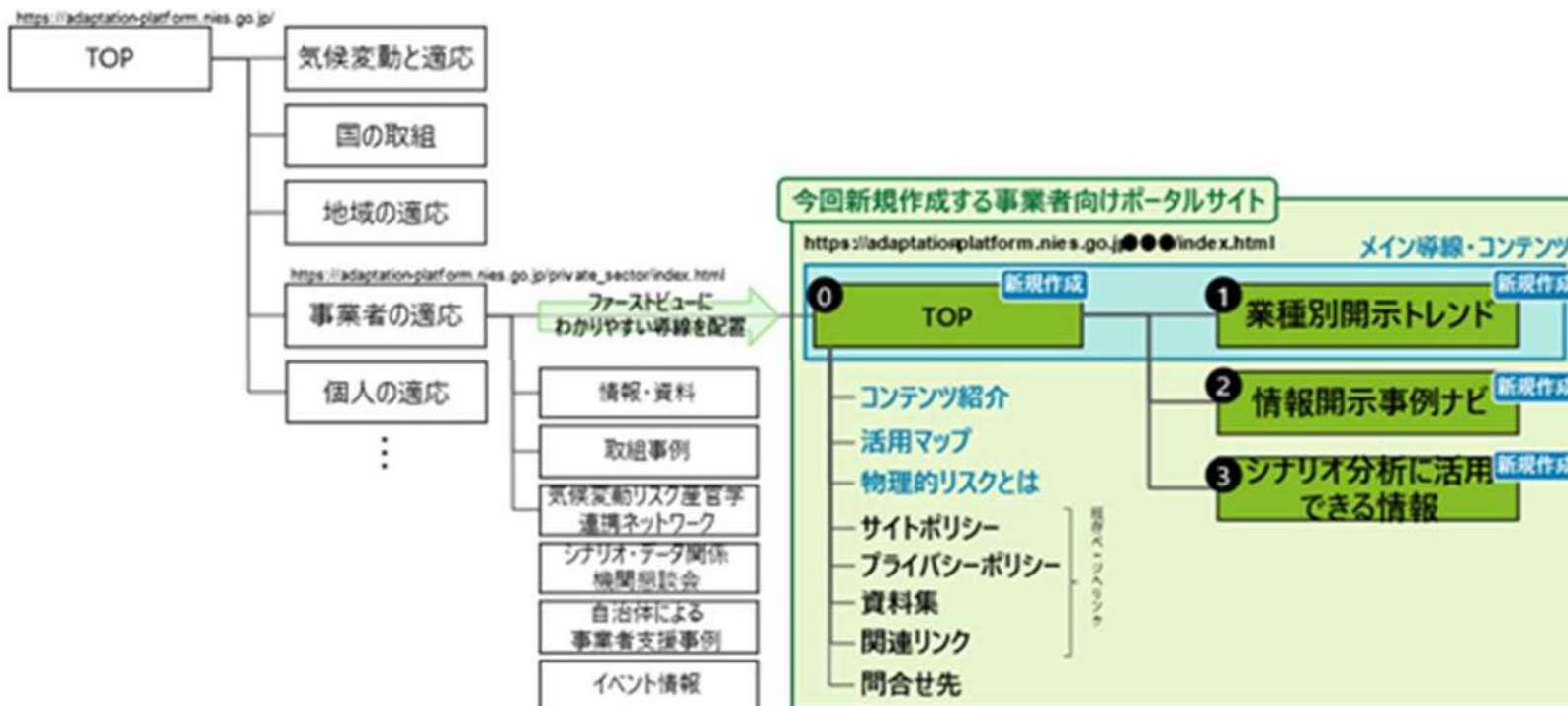
令和5年3月19日



取組の背景

- 令和5年6月、本懇談会出された意見や課題及び求められる対応について、とりまとめを実施。
- 求められる対応の1つとして、利用可能なデータ等を一元的に把握できる環境整備が挙げられる。
- また、「気候変動の物理的リスク評価等に資するデータ一覧」について、現状、EXCEL形式だが、HTML化等ユーザが利用しやすい形式に改善する必要がある。

〈サイトマップ〉



- コンテンツ（①業種別開示トレンド、②情報開示事例ナビ、③シナリオ分析に活用できる情報）紹介。
- シナリオ分析ステップに応じた本情報サイトの活用方法の説明。
- TCFD提言における「物理的リスク」の説明。

〈サイトイメージ〉

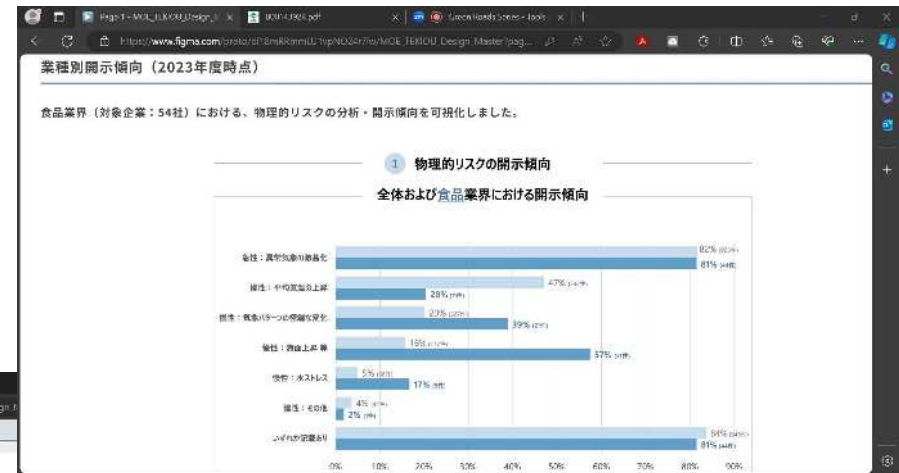
The image displays three overlapping screenshots of the A-PLAT website:

- Top Left Screenshot:** The homepage of the "気候変動リスク分析情報サイト" (Climate Change Risk Analysis Information Site). It features a globe graphic and the text "気候変動による物理的リスクに関する開示動向や開示事例を企業の実務担当者向けに紹介しています" (We introduce disclosure trends and examples of disclosure related to physical risks caused by climate change to business managers of companies).
- Top Right Screenshot:** A page titled "TCFDにおける「物理的リスク」とは" (What are "Physical Risks" in TCFD?). It explains that TCFD categorizes climate-related risks into transition risks and physical risks. Physical risks are further divided into acute risks (e.g., cyclones, hurricanes, floods) and chronic risks (e.g., sea level rise, long-term shifts in weather patterns).
- Bottom Screenshot:** A "シナリオ分析ステップに応じた本情報サイトの活用マップ" (Usage Map of this Information Site According to Scenario Analysis Steps). It provides a flowchart for users to navigate the site's content based on their analysis needs, such as "知りたい情報はなんですか?" (What information do you want to know?) and "リスク影響の理解" (Understanding of Risk Impact).

業種別開示トレンド

- プライム上場企業（1,659社）のうち、有価証券報告書において、特定のキーワード（「TCFD」「シナリオ分析」「物理的リスク」「物理リスク」の4つ）へ言及している企業を対象に調査を実施。
- その他、有価証券報告書での言及がないものの、サステナビリティレポート、Webサイト上での開示を行っている企業も対象としている。

〈サイトイメージ〉



開示内容	対象業種	対応策
原料購入の遅延による売上高の減少 食品 気候 リスク	-	・台風・赤潮等を由来とする病気に強い種・養殖方法の研究開発
自然災害による畜産農家・養殖場の物理的損失 食品 気候 リスク	-	・畜舎/養殖設備に関する情報提供や地元行政・生産者との連携強化 ・被災時に必要な支援をタイムリーに提供できる体制の構築
海水面上昇に伴う魚種や漁場の変化による漁獲量・売上高の減少 食品 気候 リスク	-	・産地地域の多様化 ・代替原料（魚卵の飼育増殖技術・代替たんぱく源・培養魚卵）の研究開発 ・魚卵の飼育増殖技術の確立（インテグリアルチャーとの共同研究） ・増殖増産技術のR&D体制強化 ・中期経営計画「海といのちの未来をつくるMN2024」にて、持続的成長のための経営基盤強化のため、「イノベーションエコシステムの構築」としてマリンテック・フードテックの研究・事業化を促進
異常気象による原材料生産拠点の固定資産への被害発生による既存資産の減損および新規資産取得に伴う再投資、生産量減少	-	・調達、生産におけるロバストオペレーションの推進

情報開示事例ナビ

- 企業の開示情報から分析時に利用した手法やツール、物理的リスク／機会への対応策について具体的な記載をしている企業を調査。
- 財務影響を算出方法や使用したパラメータ等が具体的に記載している企業や対応策の詳細な記述がある企業を中心に掲載。

〈サイトイメージ〉

情報開示事例ナビ

TCFDにおける物理的リスク評価・分析及び対応策の検討に関する企業事例を紹介します。

企業事例の検索

開示事例 (00件) 業種 物理的リスクの種類 キーワード検索

よく閲覧されている検索ワード
情報通信・サービスその他 素材・科学 食品 異常気象 海洋環境 洪水

優良企業事例

分析手法	対応策	対応策
<p>SMBC 三井住友フィナンシャルグループ</p> <p>三井住友フィナンシャルグループ</p> <p>業種：銀行 指標区分：TOPIX Core 30 TCFD買回時期：2017年</p> <p>更新日：2023年9月 掲載日：2023年9月</p> <p>取組概要 Jupiter Intelligence社のAI技術やMS&ADインテーターリスク総研が提供する洪水リスク評価プロジェクトの提供データ等を基に、水害発生によって生じる与信関係費用を算出。</p>	<p>Kawasaki</p> <p>川崎重工業株式会社</p> <p>業種：自動車・輸送機 指標区分：TOPIX Mid 400 TCFD買回時期：2019年</p> <p>更新日：2024年3月 掲載日：2024年3月</p> <p>取組概要 WRI「Aqueduct Water Risk Atlas」および過去の被害実績等を基に、生産拠点の浸没被害やサプライチェーン寸断による操業停止被害における想定被害額を推計。</p>	<p>MARUHA NICHIRO</p> <p>マルハニチロ株式会社</p> <p>業種：食品 指標区分：TOPIX Mid 400 TCFD買回時期：2021年</p> <p>更新日：2023年1月 掲載日：2023年1月</p> <p>取組概要 試算ロジックを基に、赤潮発生および、台風による被害額を推計。</p>

分析手法

MARUHA NICHIRO
マルハニチロ株式会社

物理的リスクの種類：急性 指標区分：TOPIX Mid 400
業種：食品 TCFD買回時期：2021年7月

会社概要

マルハニチロ株式会社は、油業・養豚・水産物の輸出入・加工・販売、冷凍食品・レトルト食品・缶詰・練り製品・化成品の製造・加工・販売、食肉・飼料原料の輸入、食肉製造・加工・販売を主な事業としている。
地球温暖化が事業活動に及ぼすリスクとして、水産物の養殖移動や農作物の産地移動、生態系の破壊による水産資源の枯渇を認識しており、こうしたリスクへの対応策として、効率的なエネルギー利用や設備投資を通じてCO2排出削減に努めている。

分析対象リスク／機会

マルハニチロ社では、下記抽出リスクのうち急性（異常気象の顕著化）と慢性（降水・気象パターンの変化及び海洋環境の変化）を対象に分析を実施。

シナリオ分析に活用できる情報

- ユーザーの利便性を考慮し、「気候変動の物理的リスク評価等に資するデータ一覧」を現行のEXCEL形式からHTML化し、本サイトへ掲載。
- 「分野」や「物理的リスクの種類」などで絞り込みができるようデータを整理。

〈サイトイメージ〉

